

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

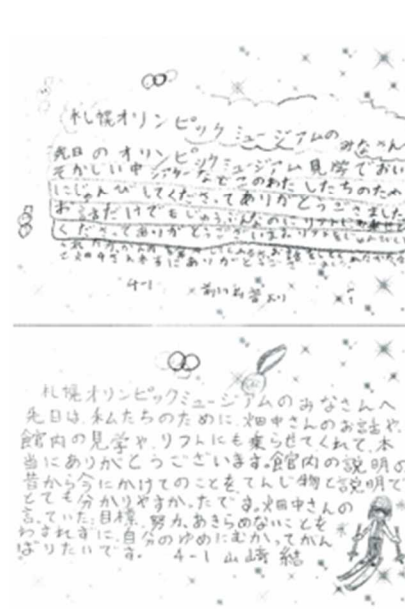
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立山鼻南小学校 3・4年児童 100名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	本校の中学年社会科で取り組んでいる「雪」と「除雪」についての学習から発展し、冬を楽しむ視点の一つとして「冬のスポーツ」について学ぶ視点をもつ。 冬季オリンピックが札幌でも行われたことを知り、オリンピックや冬のスポーツについて札幌オリンピックミュージアムを訪問し、体験的に学ぶ。
5 取組内容	事前に冬季オリンピック競技やパラリンピック競技についての授業を総合的な学習の時間で実施し、オリンピック精神や競技への理解を深める。 当日は札幌オリンピックミュージアムを訪問し、オリンピックによる講話を聞く。講話終了後は、児童が大倉山競技場リフトを利用し、ジャンプ台の大きさや構造について体験的に学ぶ。また、オリンピックミュージアムで調べ学習を行い、オリンピックやパラリンピックについての理解を深める。 後日、総合的な学習の時間の学習で、まとめの時間を設定する。 ○指導計画 (総合3時間扱い) ・冬季オリンピックについて学び、冬のスポーツについて調べる。 ・札幌オリンピックミュージアムを訪問し、体験的に学んだことをまとめる。



6 主な成果

- ・事前授業では、文部科学省から配付された資料も活用してオリンピック・パラリンピック競技について事前学習を行い、興味関心を高めた。
- ・オリンピックミュージアムでは、オリンピックの畑中氏の講話を伺った。講師の体験から「目標」「努力」「あきらめない」事の大切さを感じることができた。
- ・リフトに乗ってスタートハウスまで上がることで、ジャンプ競技場の規模の大きさや、札幌の恵まれた自然環境について、実感することができた。
- ・札幌オリンピックミュージアムを見学することで、冬季オリンピック競技について体験的に学ぶことができた。また、戦争による幻の札幌オリンピックに興味をもつ子も見られた。
- ・平昌オリンピック・パラリンピックの時期には、それぞれの教室で話題に上ることが大変多かった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・パラリンピックについての情報が少なく、見学に行っても、十分な調べ学習にすることは難しかった。 ・より多くの学年で取り組むことができるように教育課程へ適切に位置付けたい。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。